新型コロナウイルス感染症に負けるな！

スポーツ推進委員解散式＆同協議会解散会　１１月５日（木）

新型コロナウイルスの影響で延期されていたスポーツ推進委員と同協議会の解散式が、文化会館にて、十分な感染対策を講じて行なわれました。

コロナ禍での開催で、席の間隔を通常より空けたため、従来の式典と印象がだいぶ違うような気がしました。また普段行なわれていた懇親会がなく、慰労等も十分にできなく残念でしたが、これもコロナ禍で行なわれる新しい形の式典であると認識しました。

今回退任される綿谷前会長他９名のみなさん。長きに渡り、スポーツ推進委員の活動に従事していただきありがとうございました。また、新任、再任されたみなさん。知恵と工夫で新しい形の活動を模索していきましょう。

三密を回避して開催

東京都スポーツ推進委員課題別研修会　１１月７日（土）

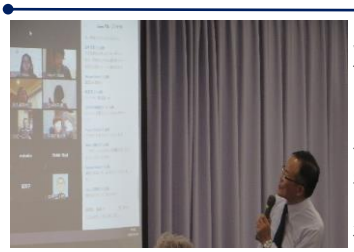
コロナ禍でほとんどの行事が中止となる中、今年度初めてとなる研修会が、講師に立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の松尾　哲矢先生をお招きして、中野サンプラザ会議室で開催されました。

会場が密にならないようにと、初のリモート併用方式で行われ、会場 82 名、リモート 52 名の計 134 名の参加がありました。

今回のテーマは、「コロナ禍におけるスポーツ推進委員のチャレンジ」～コロナ禍でもできること、コロナ禍だからやれること～で、大変タイムリーなテーマでした。

コロナ禍でむしばまれる心身の話から始まり、一人ひとりの基本的感染対策、ユニバーサルスポーツの考え方等のお話があり、その後、参加者がグループに分かれ、誰でもできるトレーニング・ゲーム作りと発表を行いました。

このような状況だからこそ、スポーツ推進委員の役割は重要だと感じられた研修会でした。



リモート参加者と
コミュニケーションをとる松尾先生

総合型地域スポーツクラブ
PRIMULA
NPO法人 志村スポーツクラブ・プリムラ

NPO 法人
志村スポーツクラブ・プリムラ
理事長　浅見宗弘

新型コロナの影響でプリムラでも活動の幅がかなり狭まってしまいましたが、各競技団体や板橋区のガイドラインに沿って７月からサークル活動を再開しました。

各種目では日常の検温を義務付けています。もし、異常がある場合や症状が無くとも３７．５度以上の体温が測定された場合は参加を自粛していただいています。活動日当日は全員が検温し記録を付けています。その他、窓は全て開けて換気を行います。卓球の場合は風の強い日に限り全開した窓にカーテンをしますが風の影響は避けられません。卓球台の間隔は４ｍとし、ダブルスは禁止しています。このため参加人数が限られてしまいます。ボールも消毒済の１個を各台で使用し、最後に台や窓、ドアの触った箇所の消毒をします。他の種目も同様です。一日も早く今までのような日常に戻れることを皆さんと一緒に願っています。

卓球練習風景

上/検温、下/卓球台消毒
新型コロナウイルス感染防止策

編集後記

今年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、様々な行事などの縮小、自粛、中止、延期が続いております。

一日でも早く終息する事を切に願う次第です。

コロナ禍の中で実現可能性を模索して参ります。今後共よろしくお願いいたします。

お問合わせ　区民文化部スポーツ振興課　ＴＥＬ　３５７９－２６５２